

【十月の言葉（平成二十八年）】

人の世話にならず

自分の力だけでできたことが

一つでもあるだろうか？

何事においても自分一人の力でやれたのではない。

目に見えない無数の働きのおかげです。

しかし人間は目に見えるものは気づけても、目に見えない働きには気づかない。気づけないのです。自分中心になればなるほど気づけない。謙虚にならなければわからない。すぐに自分の力でやったと思いがります。

教えに我が身が照らされなければ気づけないのです。また何かに気づかされても、すぐに忘れてしまいます。

それ故、生活の中で教えに照らされなければいけないのです。

人生はやり直すことが出来ません。学んでいくのです。

一生聞法もんぽうです。

※聞法もんぽうは仏の教えを聴聞ちやうもんすること